



「外国人おもてなし語学ボランティア」in 首都大

東京都は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、外国人観光客等が安心して東京に滞在できる環境を整えるため、「外国人おもてなし語学ボランティア」の育成に取り組んでいます。

7月9日（土）、本学において、東京都との連携のもと、「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座を開催しました。講座には17名の学生と4名の教職員が参加し、外国人が街中で困っている際、簡単な外国語で積極的に声をかけ、東京での旅を快適に過ごしてもらえよう手助けする方法や心構えなどを学びました。

講座

まず、この講座の意義を説明するムービーと、旅館「澤の屋」が行っている「おもてなし」を紹介するムービーを見ることから始まりました。「澤の屋」のムービーを見た学生からは、「英語が上手くしゃべることが出来る出来ない以前に、笑顔と迎える心・気持ちが大切だとわかった」との感想がありました。

次に、講師の傍島先生より、講義を行っていただきました。語学の講義ということで、身構えていた方も多かったようですが、実際に外国人が困っている場面を想定したロールプレイなど、ディスカッションを中心に進められたため、参加者たちは次第

に表情もほぐれ、楽しみながら講義を受けていました。ロールプレイも英語を用いたものばかりでなく、身振り手振りのみで行うものや、日本語で行うものもあり、非常にバラエティに富んでいました。

最後は講座のまとめとして、参加者全員で私たちが考える「おもてなし5か条」を作成しました。

- ・笑顔
- ・日ごろからの情報収集
- ・相手を尊重する
- ・分からなかったら即言う
- ・情熱を持つ

の5つです。講座を通して知ったこと、学んだことを言葉にすることで、より強く今回の講座の価値を確認できたと思います。

講座を終えて

参加者からは、今回の講座について以下のような感想があげられました。

- ・思った以上に自分の意図は伝わるとわかり、話しかけることへの抵抗感が無くなった。
- ・グループワークを通じて、自分が思いつかなかった他の人の意見を聞くことが出来て、考えの幅が広がった。

参加者にとって、英語や外国人をより身近な存在として感じる事が出来るようになった講座でした。

「外国人おもてなし語学ボランティア」養成講座

2016/07/09



講師を務めてくださった、傍島先生

講義では、先生自身の体験談を交えながら、「旅行者をお迎えする心」や「良いおもてなし」をわかりやすく教えていただきました。



ロールプレイが多く行われた講義

講義では、テキストを読み進めたり問題を解いたりするよりも、ペアやグループでのロールプレイに比重が置かれました。参加者は、英語がわからない部分は、身振り手振りでなんとか伝えようと努めていました。